

三月三日
步兵第七十六聯隊
行動研究

雨時々曇通視十分ナラズ

一歩兵第七十六聯隊ヲ如何ニ行動セシムヘ

キヤニ関シ若干ノ議論起ル

即チ之ヲトテ國境線ヲ越ヘ博石洞方向ニ

出スヘキヤ或ハ豆満江ヲ沿テ越出スルコ

トナク行動セシムヘキヤ或ハ回

テ止メテ單ニ敵ヲ欺騙牽制スル

キヤ又ハ回忠院東方國境線迄陽

ヘキヤ等是ナリ

然レトモ事件不擴

テ越境セシムルハ

ヲ沙草峯方向

ニシテ側面ヲ

2095

舟玉用
丸燦野集

2096

飛行機使
用ノ件
見具申

敢テ其ノ積極

要トセ

リタルヲ以テ
務ク回忠院高

止マラシム

此ノ日陸軍次官
本事件ヲ速ニ外

歩ニ自リ解決
ヲ要クシテ以テ事

擴大スルカ如キ
行動ニ慎重ニセ

通牒アリ

ニ連日ニ亘ル敵機ノ
跳梁ニ對シ我飛行機ヲ

以テ制壓スルハ不
擴大ノ方針ニ反スルモ

一方向等對應ノ處
置ヲ講セサルハ彼ヲ増

長セシメ我カ志氣ヲ
阻害シ且住民ニ大ナ

ル恐怖ヲ與ルヲ以テ
我飛行機ヲシテ鮮

内上空ニ根ヲ朝
夕敵機ノ飛翔セサ

一ノミ飛翔ニ依

機ヲ

ト幾

八比較的確一ト徹底トテ攻キタルモ七日以後ハ急激ニ眞
 面目且深刻ヲ加ヘ殊ニ右翼五ニ高地ニ強大ナル砲兵火カラ
 集中シ七日薄暮該高地ト長池間ヨリ約ニ大隊ノ敵張
 鼓峯前面ニ進入シ張鼓峯ノ前面及東南方斜面ヲ
 占領シ長鼓峯長池東側ノ有カナル砲兵支援ノ下ニ晝
 夜ニ擧グル攻撃ヲ實施シ特ニ彈數ヲ厭ハカル爆撃砲
 及手榴彈戰ノ爲從前ニ比シ死傷續出(七日以來傷
 者收容ノ狀況ヨリスルニ一日平均約二百名總計不明ナルモ千
 二百名内外ノ狀況ニテ自下第一線ニ歩七三ノハ六歩七
 ノ二七歩七五ノ全部ハ歩七六全部ヲ使用シ豫備隊
 歩七四ノ一六ヲ有セシモ本十日午後更ニ歩七三ノ一
 成團ノ焦點ハ右翼方面ニ張鼓峯

燒

據地ニ嚴存

到着シ假令連日敵ノ猛攻ヲ

得シ確信ハ公夜幕僚會

テ參謀長

團トシテノ面目大乗の見地ニ基ク

一熟慮ノ結果責任ヲ以テ事件ノ

認メ且今ロマテ師團ハ毫モ

リシ爲上司ニ對スル報告ニ於テ常ニ

劣弱自氣分溢レアリテ師團戰力ノ相當急激ナル消

耗及補充困難ナルノ狀況ニ就テ正確ナル印象ヲ與フル

コトニ於テ遺憾ノ點アルヲ鑑ミ目下ノ戰況ヲ報告シ且

外交交渉ヲ促進スル爲陸軍次官參謀次長軍參

謀長ニ對シ左ノ意見具申ヲナス

城況其都度報告セシカ如ク六日以前ニ於ケル敵ノ攻撃